

[2023]九州大学情報統括本部年報 : 2023年度

<https://hdl.handle.net/2324/7234372>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2023, pp.1-, 2024-09-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :

第4章 教育基盤事業室

4.1 教育用 ICT 環境の管理運用に関する事項

(1) 教育情報システムの日常的な管理運用

- ・ M2B システムを構成する九州大学 Moodle (Web を利用した学習支援システム)、Metaboard (ダッシュボードシステム)、B-QUBE (デジタル教材閲覧システム) のサーバの管理・運用を行った。
- ・ 2023 年度合計：6,752 コース (2022 年度合計：6,925 コース)
※注) 2021 年度までは前期、後期等の学期ごとの集計をしていたが、クォーター制の講義が増えたり、複数の学期で開講される同一科目を一つのコースとして作成されたりする場合など、コース設置方法が多様化して学期ごとの集計が困難になったため、総コース数のみを記載している。
- ・ M2B システムを含む学習教育クラウド基盤のサーバの負荷状況を Zabbix というサーバ監視サービスを使って収集し、適宜負荷の確認とサーバ性能の増強 / 削減の検討および実施作業を行った。
- ・ 2023 年 8 月 29 日 (火) から 31 日 (木) の 3 日間の定期メンテナンス時に九州大学 Moodle のメジャーバージョンアップを実施した。
- ・ クラウド上で Windows の仮想マシン管理システムの運用を行なった。
- ・ プログラミング学習用サーバの運用を行った。九州大学 Moodle と LTI 連携して Web ブラウザ上でプログラミング学習を行える環境の管理・運用の支援を行った。

4.2 教育用 ICT 環境の利用支援及び教育用コンテンツの整備に関する事項

(1) 教育用 ICT 環境の利用支援

- ・ Web ページ上の教育用 ICT 環境に関する情報の更新、掲載を進めた。また、学府新入生と編入学生へのオリエンテーション支援として、アカウントの説明や主な情報システムを紹介した案内文書を作成し、各部局に配布した。
- ・ 全学 FD として M2B システムの講習会を開催した。
2023 年 9 月 13 日 (水)：オンライン方式 (Microsoft Teams)、140 名受講
2024 年 3 月 8 日 (金) から 31 日 (日)：オンデマンド方式 (Moodle)、95 名受講

(2) 教育用コンテンツの整備

教材として、「情報倫理 2022 年度版」の日本語版、英語版、中国語版、「情報倫理デジタルビデオ小品集」、「よくわかる Office」の基礎編と応用編をオンライン研修システム上に公開している。

4.3 学生 PC 必携に関する事項

(1) 新入生 PC 準備作業

- ・ 学部新入生が入学前にアカウントの有効化や PC の設定などの準備を行う「入学前 PC カスタマイズ作業」のための説明動画や Web ページを作成して、自宅での作業を想定した案内を送付した。新入生 2,612 名のうち、2,529 名が設定作業を完了した。

- ・ 学生主体組織の quickQ チームと連携して、説明動画の作成と問い合わせ対応を行った。問い合わせ対応では、2021 年度から導入した LINE bot と LINE によるチャット対応を行った。

4.4 アンケートシステムの運用に関する事項

匿名回答を収集できるアンケートを容易に作成し学内外に公開できるアンケートシステムの運用を行った。本システムの利用に関する情報を Web ページに掲載している。

4.5 オンライン研修システムの運用に関する事項

- ・ 九州大学 Moodle を学生の教育・学習用として最適化していくために、新たに商用パブリッククラウド上に教職員向けの eラーニングシステムを構築し、2020 年度前期から運用を開始している。
- ・ 教職員と学生は別システムで研修を受講する必要があったため、受講対象者の見直しと機能改修を行い、学生も本システム上で研修の受講が可能となった。これに伴い、2022 年 10 月 17 日（月）に本システムの名称を「オンライン研修システム」に改め運用している。
- ・ 2023 年 9 月 20 日（水）に本システムのメジャーバージョンアップを実施した。
 - ▶ 2023 年度：111 コースの利用（2022 年度：83 コース）